

「予算省益」歯止めなし

北中

金沢でシンポ 中村敦議員ら批判

北陸中日新聞

「これでいいのか公共事業」大規模開発と環境問題」と題したシンポジウムが二十八日、金沢市下本多町の市観光会館であり、中村敦夫参院議員(みどり会議)らが無駄とされる公共事業を手

「いしかわネット」と特定非営利活動法人(NPO法人)の「白山の自然を考える会」。約百二十人が参加した。

国会議員でつくる「公共事業チェック議員」の会長を務める中村氏は基調講演で「自立した産業がないため、地域に事業を引っ張るという話になっている。公共事業そのものは必要だが、予算を取ることが省益となり、一度、計画された公共事業が止められない構図が

出来上がっている」と批判した。

この後、珠洲原発、辰巳ダム、加賀飛脚トンネルなどの事業計画に反対する市民団体の代表がそれぞれ活動を報告。中村氏を交えたシンポジウムでは「環境アセスメントや審議会が事業を進める口実になっている」「豊かになるために公共事業が進むが、豊かさとは何かが問われている」

（宮江伸一元金沢大教授）など、公共事業の在り方を見直すよう求める意見が出されていた。

シンポジウムには奥田建築院議員（民主）も参加した。（松岡 等）



中村敦夫参院議員（左から2人目）はムダな公共事業からの脱却を呼び掛けた—金沢市観光会館で

新聞 公共事業と環境問題で講演

北中 中村参院議員

県無所属議員ネットワーム「これでいいのか公共事業」

共事業「大規模開発と環境問題」は二十八日、金沢市観光会館で開かれた。基調講演では中村敦夫参院議員が「これまで公共事業は何でもいいから何か造ることが目的に分けるべきと主張した。

政府の政策を批判した。中村議員は日本の食料自給率が40%前後であることを紹介し、「公共事業を農林水産分野に振り

毎日新聞

「何でも」の発想は最悪

金沢で公共事業考えるシンポ

中村敦夫参院議員が講演

国や地方自治体の公共事業を考えるシンポジウム「これでいいのか公共事業！」大規模開発と環境問題」が28日、金沢市

の観光会館で開かれた。県内の無所属議員で作る「いしかわネット」などの主催。環境問題に取り組む参院議員、中村敦

夫氏(みどりの会議)が基調講演で「公共事業が悪いのではない。しかし、

今行われている事業は役に立っているのか。環境を犠牲にし、借金を増やすことは自分の首を絞めること」と批判した。沖縄県の石垣空港計画などに触れ「どこにかく何でもいいから」という発想は公共事業として最悪」と語った。

ンも行われ、昨年、計画を断念した珠洲原発や、辰巳ダム、白山トンネルをめぐる動きが報告された。

【曾根田和久】

いしかわ

一段と美味しく8つの味

詰合せ

錦もみじ



辰巳ダムなどの県内の公共工事についても報告がされた
「これでいいのか公共事業！」—金沢市の観光会館で

パネルディスカッション